

研究主題「自ら調べ、考える力を育成する社会科学学習指導の工夫

－中学年における観察・調査活動を通して－

東京都教職員研修センター研修部企画課

千代田区立お茶の水小学校 教諭 栗原由紀子

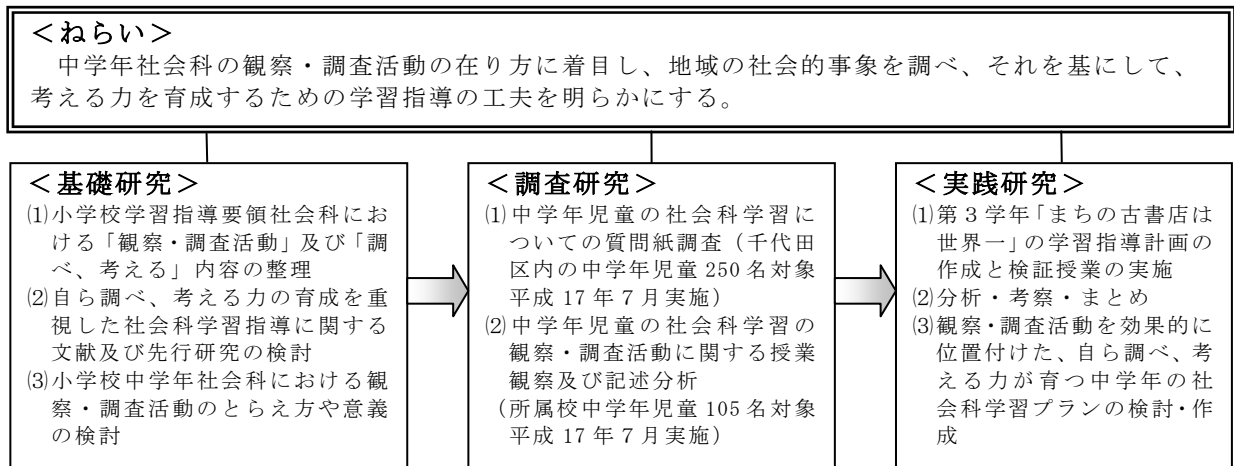
研究のねらい

中学年の社会科では、児童が身近な地域の社会的事象を具体的な観察・調査を通して調べ、考える学習を展開し、地域社会の一員としての自覚をもち、地域社会に対する誇りと愛情をもつようになることが大切である。そのため、現行の小学校学習指導要領社会科における改善の基本方針では「児童一人一人が観察・調査、体験、表現など具体的な活動を通して、社会的事象の意味や働きなどを考えたり自分の意見を述べたりする授業への改善を求めている。」と記されている。

しかし、国立教育政策研究所の「平成15年度小・中学校教育課程実施状況調査」（平成17年7月）をはじめとする各種調査報告によると、社会的事象の共通点や相互の関連を考える力などの点で課題が指摘されている。つまり、調べ活動は実践されているが、考えを明らかにしたり深めたりするなどの学習指導に課題があるのではないかということである。

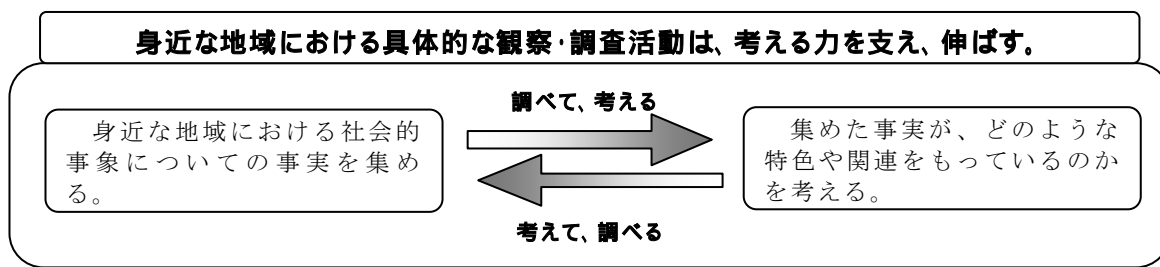
そこで、児童自らが社会的事象を具体的に調べ、それを基に考える力を身に付けることが必要であると考えた。特に、社会科学習の基礎を学ぶ中学年における観察・調査活動の学習指導の在り方を見直すことが大切であると考え、本研究主題を設定した。

研究の内容・方法



1 基礎研究・調査研究

- ・小学校学習指導要領社会科における観察・調査活動の位置付けの変遷を見ると、観察・調査にかかわる記述は増加しており、内容もより具体的になっている。特に現行の学習指導要領では、2年間を見通した指導計画の作成と、その指導計画に地域の実態を生かして弾力的に進め、児童が興味・関心をもって取り組めるような内容及び調べたことを基に考えたり、表現したりする活動を取り入れることなどが重視されている。
- ・調査研究や文献を基に観察・調査活動との関連を検討した結果、中学年社会科における、観察・調査活動の意義が分かった。まとめると次のようになる。



児童が自ら調べ、考えることができるようにするためには、目的意識を明確にもち、見通しをもって問題解決を進めながら学習内容を習得していくことが大切である。

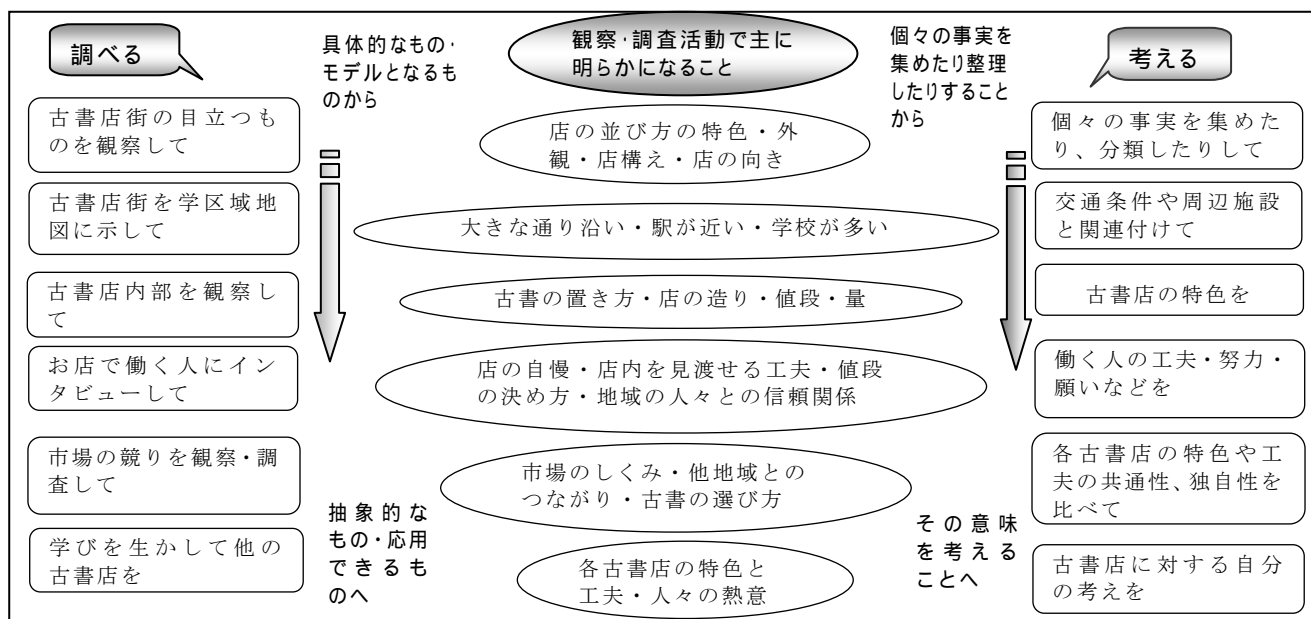
そこで、中学年においては、ねらいを明確にした観察・調査活動を理解の深まりに応じて複数回積み重ねていく必要があると考えた。つまり、身近な地域に出かけ、学習のねらいに沿って観察したり、調査したりして事実を集め、次に個々の事実を比べたり関連付けたりして特色をとらえる。さらに、働く人々に聞き取りをして工夫や願いなどに気付き、それらを基に自分の気持ちや考えを明らかにするのである。このような学習を丁寧に積み重ねていくことにより、自ら見通しをもって学んでいくようになっていくと考え、仮説を次のように設定した。

<仮説> 地域の社会的事象について、ねらいを明確にした観察・調査活動を理解の深まりに応じて複数回位置付け、調べたことを基にして考えを明らかにする学習活動を積み重ねると、既習の学びを生かしながら、自ら調べ、考える力を育てることができる。

2 実践研究（第3学年「まちの古書店は世界一」の実践を通して）

(1) 指導方法の工夫

本実践における調べ、考える学習の深まりのイメージは以下の通りである。



上記のことを踏まえ、観察・調査活動を通して自ら調べ、考える力を育成するために次の点を学習指導の工夫として取り入れることにした。

- ① 児童が観察・調査しやすく、地域への誇りや愛着につながることを意図した教材の開発
- ② 観察中心から聞き取り中心へ、さらに観察と聞き取りを併せて行うなど、理解の深まりに応じて位置付けた観察・調査活動
- ③ 観察・調査したことをその都度まとめ、考えさせる学習の展開
- ④ 身近な地域や、販売の仕事に対して誇りと愛着をもった人々とかかわり、自分の考えを深めていく学習過程

(2) 学習過程の工夫

学習過程	<p>○主な観察・調査活動及び調べたことをその都度まとめ、考える学習 (○内の数字は時数) *下線部の学習活動は評価の対象ともなる主な活動</p>	
つかむ	<p>①学校の近くにある古書店街は世界に誇る古書店街であることを知る。 ○古書店がどの位置にあるか<u>予想しながらドットマップを作る</u>。 ○どのように古書店の位置を予想したか発表する(書く)。</p>	<p>地域を見直して、自分なりの予想を明らかにする。</p>
	<p>②<u>予想を確かめるために、神田古書店街を観察し、観察・調査カードに分かったことを書く</u>。 ③観察・調査を基に古書店の<u>位置を地図に表す</u>。 ○作成した<u>地図を観察し、学校の位置や交通などとの関係から考えられることを発表したり、書いたりする</u>。 ④古書店の方からの手紙を読む。 ○古書店の販売の仕事調べるための学習問題を立てる。 ○古書店の販売の仕事調べるための計画を立て、観察する事柄をカードに書く。</p>	<p>古書店街を概観する1回目の観察へ</p> <p>古書店内部を把握する2回目の観察へ</p>
調べる	<p>⑤⑥<u>観察して調べたことをカードに書いて整理して、お店の特色について説明する</u>。 ⑦古書店を観察して分かったことや考えたことを<u>店長の方に確かめ、まだ分からないことを質問する</u>。 ○<u>見て分かった事実と聞いて分かった事実を関連付けて</u>古書店の特色や工夫を話し合い、古書店の<u>見取り図にまとめる</u>。 ○古書店長の方から<u>意見や感想を聞き</u>、本はどのようなところから仕入れているかヒントを得る。</p>	<p>観察で得た事実を整理して、意味を考える。</p> <p>聞き取り調査中心の3回目の観察・調査活動へ(働く人の工夫・努力・願いに気付く。)</p> <p>他地域とのつながりを調べる4回目の観察・調査活動</p>
	<p>⑧<u>市場の様子を観察・調査して、分かったことをカードに書く</u>。 ○他地域とのつながりを、<u>白地図にまとめる</u>。 ○市場の方から、わたしたちのまちの古書店は「○○の古書ならうちの店が一番」と自信をもっているお店ばかりであることを聞く。</p>	<p>既習の学びを生かす5回目の観察・調査活動へ</p>
学びを生かす	<p>⑨自分が選んだ古書店ごとにグループに分かれて、共通の古書店で学んだ方法や内容を活用しながら、観察・調査する計画をカードに書く。</p>	<p>各古書店の特色や、働く人の工夫、買い物に来る人の願いなどの共通点に気付く。</p>
	<p>⑩⑪古書店を観察・調査し、<u>特色や販売の工夫をまとめてカードに書く</u>。 ⑫異なる古書店を選んだ<u>友達と情報交換して、特色や工夫を比べる</u>。 ○<u>同じことや違うことは何かを考え、発表する</u>。</p>	<p>学習内容の一般化</p>
まとめる	<p>⑬⑭これまで調べて考えたことを基に「あったらいいな、こんな古書店」を古書組合の方に<u>提案するためのアイデアを書く</u>。 ○「あったらいいな、こんな古書店」のテーマで自分の<u>アイデアを提案し、古書組合の方を交えて消費者と販売者の立場から、アイデアのよさや改善点を話し合う</u>。 ○話し合いを通して<u>再度考えたことを手紙に書く</u>。</p>	
	<p>地域や仕事に誇りをもつ古書店の方との対話を通して、自分の考えを明らかにする。</p>	

研究の結果と考察

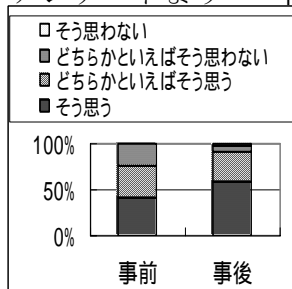
検証と考察は、授業観察と記述分析を中心に行った。

(1) 児童の反応・変容

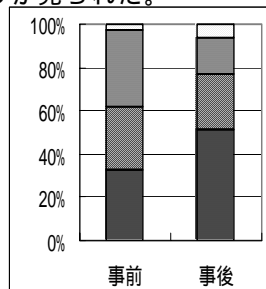
主な調べ、考える活動	・ A 児の反応	・ B 児の反応
<p>古書店街の観察から分布の特色を地図にまとめ、<u>周囲の条件と関連付けて考える</u>。</p>	<p>・ 予想の段階ではほぼ正確に古書店の分布を位置付けることができた。さらに「古書店が北を向いているのは太陽の光で本が傷まないようにするため。」と発言した。教師はそれを取り上げ、日に焼けて変色した書物を示した。A児の発言により古書店の商品を守る工夫を店の分布からとらえることができた。</p>	<p>・ 自分なりの発想で古書店の位置を予想したので、<u>予想は実際の分布とは異なったが、「人が集まりやすい所にあると思う。」「学校の近くなら、学生が買いに来る。」といった考えの根拠を認めた</u>。 すると、同じ見方で交通条件や周囲の学校との関連から分布の特色をとらえることができた。</p>

<p>共通の古書店内部の観察から店の特色を考える。</p>	<p>・店内の商品の観察によって絵を売っていることに疑問をもった。この意外性の発見が予想することにもつながり、次時の聞き取り調査に向けて、具体的な見通しをもつことができた。</p>	<p>・観察によって古書の量に関心をもった。そこで、こんなにたくさんの本をどこから集めるのかという聞き取り調査につながる自分なりの課題をもつことができた。</p>
<p>観察したことと聞き取ったことを関連付けて考える。</p>	<p>・店長の方への聞き取り調査で、観察から予想したことが合っていることを確認できた。さらに個々の事実を整理し「お客さんを集める工夫」「置き方の工夫」「本の種類の工夫」などに分類できた。</p>	<p>・聞き取り調査により、古書市場があることを知った。そこで、次は市場を観察・調査し、お客さんが望む古書を仕入れようとするお店の方の努力や他地域とのつながりに気付くことができた。</p>
<p>各グループによる古書店の観察・調査内容を比較して考える。</p>	<p>・調べる計画立案のときには、共通の古書店で調べたときの学習を生かすことができた。さらに、情報交換の際には「お店ごとに専門がある。」「どのお店も自信をもっている。」などの共通性も見いだすことができた。</p>	<p>・調べる古書店を選ぶ際には、漫画専門の古書店に興味を示した。意欲的に観察・調査したことで共通の古書店の特色や工夫と比較しながら具体的に記述することができた。「今度買いに来たいな。」とつぶやく。</p>
<p>これまで調べてきたことを基に、未来の古書店について提案し、再度考える。</p>	<p>・「インターネットに宣伝を出す。」「各古書店のよさを合わせて、もっと安く売る。」と提案した。話し合いを通して、宣伝の仕方については称賛され自信をもった。一方で、「安く売るだけでは古書店がよい本を仕入れるお金が無くなるから、結局お客さんががっかりする。そして、一箇所によい古書を集めると、火事の場合、大切な古書が全部無くなってしまふことがあるのか。」と気付くことができた。</p>	<p>・「移動古書店にする。」「本をすぐ探し出すロボットを作る。」と提案した。移動古書店は挑戦したことがあると話してもらい、大変驚き喜んだ。また、ロボットのアイデアは「君がそのロボットになれるくらい本を知ってほしいです。つまり、お客さんが自分で探しながら関連した様々な本と出会うことができるよう古書をそろえておくことも大切です。」という組合の方の意見により、考えを再度見直すことができた。</p>

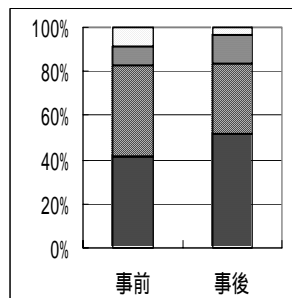
(2) アンケートより *特に次の学習への意欲の高まりが見られた。



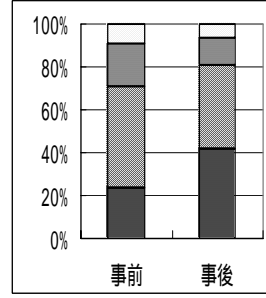
① その場所に行って、見て調べる。
 <主な理由>
 ・わくわくしたから。
 ・何があるか見ると分かったから。
 ・実際に見ないと分からないことがあったから。



② 人に関して（インタビュー）調べる。
 <主な理由>
 ・見ただけでは分からないことが分かったから。
 ・答えてもらったとき嬉しかったから。
 ・お店のよいところが分かったから。



③ 友達と話し合う。
 <主な理由>
 ・賛成してもらえたとき嬉しかったから。
 ・こういう考えもあるのかと分かったから。



④ まとめたことから、さらに疑問をもつ。
 <主な理由>
 ・もっと調べたくなったから。
 ・共通点が分かったから。

(3) 全体考察

観察・調査活動を積み重ねたことにより、問題意識をもって地域を調べる学習を進める力が育った。地域で観察・調査した内容をその都度まとめたことは、個々の事実を比べたり、関連付けたりして考え、その特色や工夫に気付くのに有効であった。身近な地域や、販売の仕事に対して誇りと愛着をもって働く人々に聞き取り調査をしたことは、人々の気持ちに共感し、自分の考えを深めるのに有効であった。本単元で学んだことを生かす学習として、次に「本を作る工場」という単元を位置付けるなど、単元構成などに配慮した中学年社会科学習プラン（例）を作成することができた。

今後の課題

- (1) 中学年2年間を見通して、調べ、考える力を育成するために観察・調査活動を位置付けて作成した社会科学習プランに基づいて実践を行い、その妥当性を検証する。
- (2) 発達段階に応じた、自ら調べ、考える力の育成のための有効な実践の方法を探っていく。